

設立趣旨書

1 趣 旨

近年、地域社会においては、少子化や人間関係の希薄化の進行に伴い、若者、特に高校生世代が学校外で主体的に学び、他者と関わりながら成長できる機会が不足している状況が見られます。また、進路選択や将来設計に対する不安を抱えながらも、気軽に相談できる環境や、自らの関心をもとに探究活動に取り組む場が十分に整備されていないという課題があります。

現在の教育環境においては、知識の習得に加え、主体性・協働性・課題解決力といった力の育成が求められているものの、それらを実践的に育む機会は学校外に大きく依存しているのが実情です。しかしながら、その受け皿となる地域の仕組みは未だ十分とは言えません。

このような社会的背景を踏まえ、本法人は、高校生を中心とした若者が安心して集い、学び、交流し、挑戦できる環境を提供することを目的とします。これまで任意団体として実施してきた、高校生主体のイベントや社会参画の機会創出といった活動を継続・発展させるとともに、新たに日常的に利用できる居場所としての機能を整備していきます。具体的には、放課後学習スペースの運営を通じた継続的な学びの支援、進路相談や探究活動の伴走支援を行うほか、探究コンテスト等の実施により、その成果を社会に発信する機会の創出を図ります。

これらの事業は、特定の個人や団体の利益にとどまるものではなく、広く地域の若者を対象とし、誰もが参加できる開かれた形で実施するものです。若者の成長は地域社会全体の活力向上にもつながるものであり、本法人の活動は不特定多数の者の利益に寄与するものと考えます。

また、これらの事業を継続的かつ安定的に実施していくためには、社会的信頼性の確保や、行政・企業・教育機関等との連携体制の構築が不可欠です。そのためには任意団体としての活動には限界があり、契約主体となることや資金調達の幅を広げる観点からも、法人格の取得が必要であると判断しました。

以上の理由から、特定非営利活動法人を設立し、公益性の高い事業として本活動を推進していきます。

2 申請に至るまでの経過

本法人の前身である任意団体「United for Next」は、若者が主体的に社会と関わり、自らの可能性を広げる機会を創出することを目的として設立されました。

設立以降、「高校生の、高校生による、高校生のための学びと挑戦の場づくり」をコンセプトに掲げ、高校生が主体となって企画・運営を行うイベント「超・学校祭」を実施してきました。このイベントでは、地域住民や企業等と連携しながら、多くの来場者を集める規模での開催を実現し、高校生の企画力や実行力、発信力を社会に示す機会となりました。

また、街中でのブース出店や地域イベントへの参画、高校生同士の交流イベントの実施、企業や大学と連携したプロジェクトの企画など、多様な活動を展開してきました。これらの活動を通じて、多くの高校生が学校外での学びや挑戦の機会を得るとともに、地域とのつながりを深めてきました。

しかしながら、これまでの活動は主にイベント型であり、継続的に関わることができる場の不足や、日常的な学習・相談ニーズへの対応といった課題が明らかになってきました。特に、より多くの高校生に対して安定的に支援を提供するためには、常設の拠点や継続的な運営体制の構築が必要であると認識しています。

こうした課題を踏まえ、今後は既存のイベントや社会参画機会の提供といった活動を継続しながら、新たに放課後学習スペースの運営や探究コンテストの実施など、日常的かつ発展的な事業へと展開していくことを計画しています。

これらの取り組みをより一層発展させ、社会的信頼を確保しながら持続可能な形で運営していくために、関係者間で協議を重ねた結果、特定非営利活動法人として組織化することを決定し、本申請に至りました。

令和8年7月21日

特定非営利活動法人地域みらい人財共創センター
設立代表者 氏名 佐藤和輝